

義太夫

令和四年度の諸慶事

義太夫協会会長 原 道生

明けましておめでとうございます。本年も
よろしく願いいたします。

と申しましたが、この「本年も」という型通り
のご挨拶の言葉の中にも、一昨年来のコロナ
禍により、私ども義太夫協会の日常的な活動
計画のほとんどが、深刻な影響を蒙り続けて
いるという現在の状況に対する困惑の気持ちが
含まれたものとなってしまっていることは、
協会関係者の一同にとって、共通しているところ
かと存じます。

けれども、そうした困難な状況下にあいな
がらも、本協会におきましては、会員の各自
が、直面する事態に向けての真摯な対応を心
がけることにより、それぞれに優れた成果を
あげ得ているという事情に関しては、本会報
毎号の記事を通して、皆様方にもご承知いた
だけていることと考えております。

しかも、今回私がここで触れます昨令和四
年度の諸事例に関しましては、恐らく例年以
上に多くの慶事に関わる成果として高い評価
を受けているものが見出されるに違いありま
せん。

そこで、以下、私は、それらの諸例につき、
次頁以降の紹介記事と重複する点が多いかと
も思いますが、詳細はそちらに譲り、当方は
ごく簡略な形で、コロナ禍の中でなされた昨
令和四年度における協会関係者の努力・研鑽
の跡を辿ってみることにいたします。

○
まず何よりも特筆されるべき事柄は、鶴澤
津賀寿さんが、重要無形文化財「義太夫節」
の各個認定保持者、いわゆる人間国宝の栄誉
を受けられたことでしょう。尤も、この件に
関しましては、本会報に他稿が予定されてお
りますので、ここでは、おめでとうとの祝意
のみを述べるにとどめますが、今後は、竹本
駒之助師との師弟による人間国宝コンビの至
芸の探求や、後進たちへの育成・指導など、
お二方に対する私どもの期待はますます高ま

義太夫協会会報 第115号

令和5年1月1日

一般社団法人 義太夫協会 発行

〒103-0023

東京都中央区日本橋本町3-1-6

日本橋永谷ビル210

Tel. 03 (6265) 1880

Fax. 03 (6265) 1881

<http://www.gidayu.or.jp>

るものと思われまので、第三者による身勝
手なお願いながら、一層のご自愛の上、末長
いご活躍を心からお祈り申し上げる次第です。
なお、津賀寿さんは、右に先立ち、E N E O
S音楽賞も受賞しております。

また、津賀寿さんと同時期に、鶴澤津賀榮
さん、鶴澤友吉さんのお二人が、重要無形文
化財「義太夫節」の総合認定保持者の認定を
お受けになりました。このことを機に、お二
人は義太夫節保存会の会員になられます。

その他、右の方々以外でも、公的な叙勲・
表彰の該当者としては、竹本葵太夫さんが芸
術院賞、竹本友喜美さんが旭日双光章、竹本
友代さんが文化庁長官表彰を、それぞれに受
けておられます。

最後に協会内輪のものではありますが、コ
ロナ禍による公演中止などのために授与が延
期されていた新人奨励賞が、令和二年一月
に竹本駒佳さん、同四年二月に竹本越里さん
に贈呈されたことも申し添えておきましょう。

お二人の今後の活躍を期待いたします。
以上、こうして見て参りますと、正会員・
事務職員を中軸として本協会を支える関係者
一同の底力というものが強く感じられ、大変
印象的でした。そして、私自身も、及ばずな
がら、何らかの形でお役に立ちたいと、この
新年に際して、改めて思った次第です。
本会報の読者の皆様方には、どうか「本年
も」よろしくご支援を賜りますよう、重ねて
お願い申し上げます。

〈目次〉

令和四年度の諸慶事(原道生)	1
鶴澤津賀寿 人間国宝認定	2
竹本友喜美 旭日双光章受章	
竹本友代 文化庁長官表彰	
新入正会員紹介	3
義太夫教室七四期	
入場料改定のお知らせ	
七月公演「名優の当たり役」	
ひと味違った怪談(村尚也)	
巡回公演事業	4
鉄道唱歌公演	
A R T E 取材	
訃報・景山正隆氏	5
一生、歌舞伎を楽しんだ父(景山咲子)	
素義会会長に就任して(稲岡信之)	
人間国宝弟インタビュー	6
創作浄瑠璃はこうして出来上がった(野澤松也)	8
二代目吉右衛門丈と私(竹本葵太夫)	9
協会・正会員の主な動き	10

祝 鶴澤津賀寿 人間国宝認定

昨年十一月十七日に、令和四年度重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)の認定書交付式が開かれ、鶴澤津賀寿が都倉俊一文化庁長官より認定書を交付されました。

女流義太夫の三味線弾きとしては昭和六一年の鶴澤友路以来で、女流義太夫界にとりましても大変に意義の深いことであります。これからの益々のご活躍を祈念いたします。

鶴澤津賀寿 つるざわつがじゅ(立花繭子)

東京都出身。

一九八四年一月、竹本駒之助に入門。三味線を四代目野澤錦糸に師事。一九八六年五月、駒之助の義母鶴澤三生の幼名津賀寿を継ぎ、本牧亭にて初舞台。鶴澤重輝の預かり弟子となる。

一九九六年度第四七回芸術選奨文部大臣新人賞(古典芸術部門)。一九九七年度第十一回財団法人清栄会奨励賞。一九九九年度第四回ビクター伝統文化振興財団賞「奨励賞」。二〇〇九年、重要無形文化財(義太夫節)総合指定保持者認定。義太夫節保存会会員。二〇一八年度第七回中島勝祐創作賞。二〇二二年、第五二回 E N E O S 音楽賞(邦楽部門)。重要無形文化財「義太夫節三味線」個人指定保持者認定。



認定書交付式にて、都倉長官(左)と津賀寿

令和四年秋の叙勲

竹本友喜美 旭日双光章を受章



竹本友喜美は十歳より義太夫節三味線の人間国宝・故鶴澤友路に師事、大阪文楽座や京都南座の舞台上に上がつた後、淡路人形座へ入座。海外公演や後進育成に尽力してきました。「受章は厳しくも愛ある指導をしてくれた師匠のおかげ」と話す友喜美。今後の益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

竹本友代 令和四年度文化庁長官表彰



竹本友代が長年の文化活動により顕著な業績を挙げた芸術家・文化人を表彰する「文化庁長官表彰」を受けました。

幼少より義太夫節に親しみ、故鶴澤友路にも師事、長年にわたり義太夫節の普及・発展に寄与してきた実績が認められたものです。

新入正会員紹介

令和四年七月一日付で竹本朝輝門下の竹本和広太夫が本協会の正会員となりました。

竹本和広太夫（たけもとかずひろだゆう）



二〇一三年三月、国立大劇場にて「道成寺道行」で初舞台。二〇一五年度義太夫教室第六八期修了。二〇一六年、竹本朝輝に師事。二〇二二年七月、竹本和広太夫を名乗る。

初めまして竹本和広太夫でございます。僣越ながら、皆様とご一緒に勉強させて頂けるよう、邁進していく所存で御座いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

義太夫教室七四期実践コース

義太夫教室七四期は、九月より語り・三味線に別れた実践コースを開催中です。語りは講師二名で、竹本土佐恵が『増補忠臣蔵』本蔵下屋敷の段、竹本越若が『菅原伝授手習鑑』車曳の段を稽古しています。三味線は鶴澤津賀寿を講師として、ソナエや三重、各種メリヤスなどを稽古中です。

語り・三味線の両コースを受講する方も多く、三月の卒業発表会に向けて、皆さん稽古に励んでいます。

女流義太夫演奏会入場料改定のお知らせ

二〇二三年四月より女流義太夫演奏会の入場料を次のように改定させて頂きます。

一般料金・四〇〇〇円（現行三〇〇〇円）

会員・学生等割引対象の方…三〇〇〇円（現行二〇〇〇円）

女流義太夫演奏会の入場料は、二〇〇八年四月に現在の三〇〇〇円となりました。以来、間もなく十五年が経過致します。

その間、各種助成金を受けながら開催してまいりましたが、運営上、現行料金で継続する事はこれ以上困難と判断いたしました。

皆様には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

七月公演「名優の当たり役」

昨年七月十六日の定例公演は「名優の当たり役」と題して開催されました。「鼻高幸四郎」の異名で知られる五代目松本幸四郎について歌舞伎研究家の鈴木英一さんにお話をさせて頂き、当たり役の師直に因み『仮名手本忠臣蔵』殿中刃傷の段、権太に因み『義経千本桜』すしやの段、松王丸に因み『菅原伝授手習鑑』車曳の段の三曲をお聴き頂きました。

五代目の人柄を彷彿させる興味深い逸話を鈴木さんが数々ご紹介くださり、演奏を聴きながら、錦絵でしか知らない「鼻高幸四郎」の舞台姿が目に浮かぶようでした。「名優の当たり役」、今年は三代目實川延若を予定しております。ご期待ください。

ひと味違った怪談

能の幽霊は秋に多く出現します。が、江戸の中頃からは夏芝居やお盆の影響もあって、幽霊はもっぱら夏の定番となったようです。これに円山応挙の足の無い幽霊や、柩の中の白い単衣の死に装束が加わって、いまの幽霊のイメージは出来上がったといえるでしょう。

昨夏の義太夫協会での怪談特集では、義太夫としては上演頻度の稀な『播州皿屋敷』と『東街道四谷怪談』が取り上げられ、通なお客様におおいに喜ばれたようでした。そこで前ふりで話をさせていただいた私も、敢えて本題から少し逸脱したエピソードを紹介させていただきます。

例えば皿屋敷の名称は、腰元お菊が割った皿からではなく、もとは千姫らの痴情のもつれで井戸に死骸を投げ込むなどの惨劇があったため、二度にわたって屋敷が更地になったことから「更屋敷」がもとであったこと。また四谷怪談のお岩という珍しい名前は、容貌の醜さゆえに夫から離別されたイワナガ姫の伝説によることなどを紹介させていただいたりしました。

いずれにしても幽霊出現のファッションも動機も時代によって変遷する。そんな中で、演者の熱演も相乗して、いつもとは違った義太夫の怪談特集は、ひと味違った夏を楽しめた公演になったことは間違いなかったことでしょう。

（日本舞踊演出家 村尚也）

文化芸術による子供育成推進事業

巡回公演事業

「語ってみよう! 義太夫節」実施

令和四年度の文化庁による巡回公演事業が
神奈川・長野・岐阜・愛知県にて実施され、
竹本越孝、竹本京之助、竹本寿々女、鶴澤三
寿々、鶴澤賀寿、鶴澤弥々が参加しました。

十月十七日 藤沢市立鵠南小学校
十月二十五日 長野県長野盲学校
十一月八日 恵那市立恵那北中学校
十一月九日 下呂市立金山小学校
十一月十一日 海津市立高須小学校
十一月十四日 岩倉市立岩倉東小学校
十一月十五日 田原市立中山小学校
十一月十六日 豊川市立中部小学校

事業内容は『寿式三番叟』、『菅原伝授手習鑑』車曳の段の演奏をはじめ、義太夫節についてや曲目の解説、校歌の義太夫節化、ワークシヨップ及び成果発表等を行いました。今回新たに加わった『三番叟』に因み、三味線に合わせた地固めの足踏み体験も行いました。五穀豊穡への祈りと感謝の意を込めた足踏みは得も言われぬ高揚感を生み、生徒達に大好評でした。

(鶴澤三寿々)



「鉄道唱歌」公演に出演

昨年は鉄道開業一五〇年記念ということで、七月九日に、国立劇場主催公演「鉄道唱歌」明治の音楽と鉄道」が開催されました。

ご案内は落語家の古今亭駒治氏、ゲストに六角精児氏を迎え二人の対話で司会進行という趣向でした。お二人とも熱烈的な鉄道オタクですが、企画された国立劇場職員の方も鉄道オタクとか。

女流義太夫からは、浄瑠璃・竹本越孝、竹本土佐子、竹本佳之助、三味線・鶴澤寛也、鶴澤駒治、鶴澤弥々というメンバーで『仮名手本忠臣蔵』道行旅路の嫁入で出演いたしました。明治期の鉄道は街道や宿場といった近世交通を土台に敷かれたため、東海道の地名が登場する道行はもってこいの演目です。



左から佳之助、土佐子、越孝、寛也、駒治、弥々

当時の雰囲気を出すため、セツトは寄席風、我々も急遽新日本髪で舞台上からさせていただきました。

稽古後、どのような簪や鹿の子をつけるか、皆で相談したのは楽しい時間でした。

(鶴澤弥々)

竹本越孝、鶴澤三寿々が

ARTEの取材を受けました

昨年九月二一日、東京都港区の有形文化財・伝統芸能交流館にて、ARTE（アルテ・フランス、ドイツ共同テレビ局）による取材が行われました。越孝、三寿々が参加した女流義太夫素浄瑠璃フランス公演を企画したカンタン・コリーヌさんのコーディネートで、番組名は「100 visages du Japon - 日本の百の顔」。百人のインタビューを通して日本の現状、文化などを紹介するそうです。

まず『一谷嫩軍記』組討の段を演奏してからインタビューとなりました。内容は、この道を志した理由、本来男性の芸能であるものを女性がつとめることの悩み、将来の目標等で、演奏を聴いたインタビューからは、ドラマチックで場面が迫ってくるようだった、三味線の力強さに圧倒されたとの感想がありました。また女性でも肩衣、袴という男性の恰好をして演奏することにとっても驚かれました。

こちらは本年上旬よりARTEウェブサイトに公開予定だそうです。詳細はSNS等でお知らせいたします。ぜひご覧ください。(竹本越孝)



取材を受ける越孝 (右端)

◆ 訃報 ◆

景山正隆氏



当協会の元
会長・景山正
隆氏が令和四
年八月二日に
逝去しました
(享年九十九
歳)。

大正十一(一九二二)年に、現東京都新宿区で生まれた景山氏は、東京大学を卒業後、七十歳の定年まで、清泉女子大、東洋大学などで教授職についてきました。

平成七(一九九五)年七月、七十三歳の時に第三代社団法人義太夫協会会長に就任、平成十七(二〇〇五)年六月の退任まで十年間にわたり当協会の代表として義太夫節の発展の尽力してきました。

その間、義太夫教室の講師もつとめ、豊富な知識を受講生の方々に伝授してきました。

また、平成十四年開催された正会員と賛助・特別会員の親睦会「感謝のつどい」は、日頃から協会を支えてくださる会員の皆様に感謝し、是非交流する場を設けたい、と景山氏が発案し実現しました。

そして、長年、国立劇場養成課の講師をつとめ、九十歳を超えてもなお現役で研修生の指導にあたっていたことも、特筆すべき事柄です。

一生、歌舞伎を楽しんだ父

九月に百歳を迎える目前、猛暑の中、父は急に食欲をなくし旅立ってしまいました。

ガラス戸の本棚に写真が飾ってあって、これを遺影にと思っていたのだと取り出したところ、写真と共に「景山正隆八十年の歩み」が出てきました。平成十五年、ちょうど義太夫協会の会長をさせていただいていた頃にまとめたものでした。(用意が早すぎました！)

生い立ちや学歴・職歴のほか、歌舞伎研究に関わる出来事が書かれていました。

大学時代に杵屋栄左衛門師のもとで長唄の稽古を始めたこと、昭和四四年、「寺子屋会」に誘われ竹本光末師(女流)のもとで義太夫の稽古を始めたこと。研究には実体験が必要との信念で、加子母歌舞伎や旭町歌舞伎で舞台に立ったこともありました。

私が父に連れられて、初めて歌舞伎を観たのは中学生の時のことでした。京都・南座でロンドン大学のダン先生ご一家と一緒に柙席での観劇。楽屋で、二代目中村鴈治郎さんにお目にかかりました。そんな贅沢な初体験でしたのに、その後、歌舞伎や文楽に関心を持つことなく、長唄と義太夫の違いもわからず、お恥ずかしい限りです。それでも、内子座での文楽、父の母方の故郷・津和野での地芝居などを楽しんだのは父のお蔭でした。

末筆になりましたが、義太夫協会の皆様には大変お世話になり感謝しております。

(景山正隆長女 景山咲子)

盆は廻る―会長に就任して

日本素義会は、二〇二〇年五月に予定されていた第一一二回がコロナ禍で中止となった後、同年十二月六日に活動を再開し(第一一三回)、二一年六月二六日(第一一四回)、同十二月十日(第一一五回)、二二年五月七日(第一一六回)、同九月二五日(第一一七回)、と何れも鳥越神社にて開催してまいりました。換気の間を設ける為に番数を減らしたり、密を避ける為来場者を制限する等、何かと御不便をお掛けしておりますが、一度も感染のピークに遭遇する事なく従前通り年二回の開催が続けられたのは誠に幸運な事だったと思います。

猶、長らく会長として会を牽引して来られた菅野昌行前会長が、二〇年七月に急逝され、不肖私が竹本駒之助師匠の命により引き継ぐ事となりました。歴代の会長の様に一人で切り盛りする器量はございませんので、他二名の幹事の強力なサポートの下、集団体制で運営に当たっております。これ迄僅か五回の開催ではございますが、御師匠様方のご協力、女義や協会の皆さん、お手伝いの方々の献身的な働きで会が成り立っている事を痛感し、感謝致す次第です。これも前会長始め歴代の方々が女流義太夫に注いで来られた愛情の賜物と思い、微力乍ら努めを果たして参る所存です。

(日本素義会会長 稲岡信之)

「お願い」 「大日本素義会」関係の資料を調査しています。手放されたり廃棄される御予定がございましたら、義太夫協会までご相談ください。

(鶴澤三寿々)

竹本駒之助×鶴澤津賀寿 人間国宝師弟インタビュー

師弟で人間国宝となった竹本駒之助・鶴澤津賀寿のお二人にお話を伺いました。

編集部（以下「編」）…津賀寿さん、このたびは人間国宝認定おめでとうございます。

津賀寿（以下「津」）…ありがとうございます。

駒之助（以下「駒」）…ありがとうございます。

編…認定の知らせを聞かれた時のお気持ちは。

津…びっくりというか、早いなと思いました。

そんな歳かと（笑）。まだ弟子のつもりだから、弟子のつもりというか弟子だから。

ちょっとびっくりでした。

編…お師匠さんがお元気ですからね。

駒…すんまへんなあ（笑）。

編…現役の師匠と弟子が同時に国宝で、しかも一緒に舞台に出るということは、とても貴重なことです。

津…珍しいですよ。

駒…よかったなあとは思いました。私がいる時でよかったなど。死んでからやったらわからへんもん（笑）。

津…でもまだ自分が国宝という感じはないです。認定が（令和四年）十月三十一日です。

から。七月に答申された時に大騒ぎになっても、まだ国宝ではなかったのです。認定された後の舞台はまだ（十一月七日時点）二

回ですもんね、ちょうど十月三十一日と十一月一日に続けて舞台があったので、二人で出演しました。

編…答申が出てからは、世間的には国宝ペア



国宝認定の日の楽屋にて、駒之助（右）と津賀寿

のようになっていました。

津…答申が発表された日は、京舞のお仕事で京都に師匠と一緒にいらっしゃいました。舞台稽古で、師匠が「（井上）八千代先生に言うたか、八千代先生に言うたか」って言って、「先生、先生」って呼んでお伝えしたんです。そうしたら八千代先生が「よかったー！」って言って、ぎゅーって抱きしめてくれて。そして次の日が本番で、祇園の人もみんな喜んでお祝い持ってきてくれて。

だから京都に縁があるなと思いました。

編…今までのお二人での舞台で、一番印象に残っているものはなんですか。

津…うーん、なんでしょうね。その時の目の前のものをこなすので必死だから、あまり

どれがどうかはわかりません。

編…初めての時は。

津…プロになってからは、ラジオ「邦楽のひ

とき」で「奥州安達原」の袖萩祭文を弾かせていただいたのが最初かな。まだ私が師匠を弾いていないころで、（曲の最初の）ヨクリが、今まで思っていたのと息の長さ、幅が違いすぎて、「違う違う」って言われて「えー、まだ？ まだなんだ」って思っ

て。愕然とした記憶があります。全然モノが違うというか、困りました。師匠を弾かせていただいていると、大きな舞台、身の丈に合わないことをやらせていただいて、やっぱりすごくプレッシャーがかかるリストレスが多いので、そういうのはずいぶん

すよ。年間パスポートだと一時間でも行けるから、三十分くらい、一回りしただけで帰ってきたこともあったし、朝と夜の稽古の間にディズニールランドに行って座っているとかな。それだけで気持ちリフレッシュするんです。ディズニールランドは母も大好きで、母と仲良くするツールでもありました。

編…三味線のお稽古で印象に残っていることはありますか。

津…私は大学の時に四年間長唄の三味線をやっていたので、最初はその癖を取るのが大変でした。一の糸の弾き方とかがわからなくて、自分で自分にヒステリーを起こして、（三味線の朱を記した）ノートに撥を投げつけたこともあります。

編…師匠方のお稽古ではいかがですか。

津…重輝お師匠さんが、何かの稽古の時に、



津賀寿が国宝記念に作成した扇子。熊好きで知られる津賀寿が、熊が三味線を抱えている図柄を選んだ。原画は津賀寿の高校の同級生で日本画家の中嶋乃扶子氏によるもの。

何も言わずに立って行ってしまったことがあります。困って駒之助師匠にお電話したら、「それはほっといても大丈夫ということ、進んでるということや」って無理やり慰めてくださったんですけど、「そんなわけないでしょ」って思ってた。本当にあれば切なかったですね。何かが気に入らなかつたんでしょうね。

駒…あのお師匠さんは言わないの。日々の一緒にいる時に…。

津…こういうふうにして喋っているのが勉強で、盗みなさいっていうことで。

駒…そうそう。

津…弾いているのを見たりとか、雑談してると、なんだか移ってきちゃうんですよね。

駒…越路お師匠さんが一緒にいてきてくれて、「若い者に言うてやってくれ」って言うても、重輝お師匠さんは「ぼつぼつと言わしていただきます」って。こんななんなの、重輝お師匠さんは。(越路師匠は)重輝お師匠さんのこと「いいお三味線やなあ、あ

んたは幸せだった」って、その方にお世話になるということは得難いことや、て言うてはりました。言うてもらってないんだけど日々一緒にいることが大きかったと思いますね、この商売は、言われてから悟るんじゃないだめなのよ。前に座っただけで、その芸だけじゃない、他のところも持っていないと、手数だけじゃないんだよね、だからほんとに無形なんです、なんでもね。

津…重輝お師匠さんも彌七お師匠さんには、やっぱり全然稽古してもらったことないって。

駒…そう、一遍も稽古してもらったことないんだけど、師匠の前に座った時にピシッとできなかったら、「来んでもいい」になっちゃうから、そりゃ怖かったらしいですよ。

津…私、重輝お師匠さんにもちょっと格好が似てるって言われるんですけど、この頃よく駒之助師匠に似てるって言われるんですよ。

駒…私に？ 私になんか似たらダメだよ(笑)。

津…やっぱり似ちゃうのが師弟っていうか。稽古してもらったりとか、いつも一緒にいてね。血とかじゃない何かっていうね。

編…後輩の指導にはずいぶん力を注いでいらっっしゃいますね。

津…これだけ教えてもらったことがあれば、それは自分のものじゃないわけでしょう。駒之助師匠も越路師匠や色々な人から受けていて、それを教えてくださったってわけてから、それは私のものじゃなくて、義太夫って世界のものなわけでしょう。それは下に投げておかないと、自分で抱え

て死んじゃったら何もならないですもんね。師匠もそうやってきて、どこのお弟子さんでも、三味線弾きにでも何でも教えてくださる。家元制度だったら、絶対よそのお弟子さんには言わないわけじゃない。そういうのがないからいいですね、義太夫は。全体が一つになって皆がなんとかならなきゃって思っているわけだから。

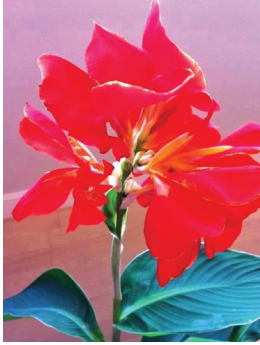
竹本駒之助 たけもとこまのすけ



淡路島出身。昭和二十四年竹本春駒に入門、竹本駒之助となる。文楽の諸師匠方に

師事。同二十八年東京初上り、本牧亭に出演、四日間トリをとる。同四十五年、四代竹本越路太夫の女性唯一の門人となる。平成八年モービル音楽賞受賞。同十一年重要無形文化財保持者(人間国宝)認定。同十五年紫綬褒章受賞。同二十年旭日小綬章受賞。同二十七年文化庁芸術祭(音楽部門)大賞受賞。同二十九年文化功労者に選出。同三十年南あわじ市名誉市民選定。義太夫節保存会会長。(一社)義太夫協会理事。※津賀寿の国宝認定のニュース及びプロフィールは2ページをご覧ください。

〈予告〉鶴澤津賀寿 人間国宝認定記念
女流義太夫演奏会五月公演
五月七日(日) 紀尾井小ホール



被爆者の方から生の声を聴いて作る事にしました。母親の知人、松浦さん（実は私の乳母でした）にお逢

創作浄瑠璃はこうして出来上がった（続）

二〇〇四年十一月三日文化の日、広島に帰り何故か原爆資料館に行く。出口に差し掛かると眩い光が目に入ってきた、白黒の写真が入ったパネルが飾っており、写真の下には「七十五年は草木も生えない広島焦土にたった一か月半で花が咲いた。広島の人達はその花を見て希望の光が見えた」と復興に携わった」と書いてある。私は昔話以外にも土地に携わるお話も浄瑠璃にしていたので、被爆の話も忘れてはいけない話だ、日本で起きた被爆の話を日本の伝統文化である浄瑠璃で伝えていかなければ、と思い浄瑠璃にする事にした。

調べていくと写真に写っていた白黒の花はカンナの花でした。カンナは球根で原産地は暑い国で寒さには弱いらしい、しかし硫酸に一時間浸けて置いても死なない強い球根である、だから被爆後でも咲いたのであろう。晰の内容はカンナ自身が被爆を体験してカンナの目から被爆の様子を見つめ、二度とこんな悲惨な事が起きないように、世界中が幸せになれる様に、未来に向けてのメッセージになりました。

いして被爆の話を聞きました。当時松浦さんは未だ小さな女の子で、母親と逸れて、体中に火傷を負いながら母親を探して歩き続けてました、それまで淡々とお話していたのに、やっとの思いで母親に逢えて母親からアロエを背中に張って貰った話の時に涙を浮かべて、母親の愛が有難いと仰っていました。

話は変わりますが、資料館に飾ってあった白黒のカンナ、私は真つ赤なカンナだと確信して、冒頭に「真つ赤なカンナが咲きました」と書きました。後で分かりましたが此のカンナの写真を撮られた方は軍の命令で広島と長崎の被爆の写真を撮って持ち帰る任務でしたが、此のカメラマンの私記に「真つ赤なカンナが咲いていたので思わずシャッターを下ろしてしまいました」と書いてありました。間違っはなかった、良かった。

そうして出来上がった『広島咲希望の花カンナ』を初めて二〇〇五年八月十一日広島市民交流プラザで演奏する事が出来ました。百人近いお客様がお見えになりました、取材も受け、お客様とお話したり、中でも私の母校の小学校の校長先生も見えていて、子ども達にも聞かせてやりたいと言われて、直ぐには無理でしたが小学校に行って演奏出来ました。子ども達も初めて浄瑠璃を聞いて、怖かった子や、びっくりしていた子も居ましたが、時間が経てば忘れてしまうんだろいうなゝそう、子ども達にカンナの球根を植えて育てて貰おう、そうして花が咲けばきっと思いい出してくれる！その頃、私の活動に賛同

してくる人たちが十人ばかりいらして、カンナの会を発足しました。

それから寒さに強いカンナの球根を探し始めました。知り合いから電話があり、「長野県の須坂市にカンナ街道があるよ」と「え、冬は雪の降る寒い場所なの？」

早速、須坂市に問い合わせてみると、ある農園業者の人が倒れ掛かっていた老人ホームに在ったカンナの球根を全て買取り、品種改良をして国道沿いに真つ赤なカンナを植えて、須坂市に来られる方の目を楽しませてあげてほしい。早速その農園業者の田辺さんにお逢いして球根を分けて貰う事にしました。

田辺さんが「カンナの球根いくついるんだい？」と言われ、その頃は広島小学校十校以上演奏に行っていたので「球根百個くらい頂けますか？」と、そう言う田辺さん「お前、百個も何処に植えるんだい」と笑われましたが、広島のカンナの話をしたら、「お前なりそんな良い話なら百個でも二百個でもタダでやるから持てけ、私も自分のカンナが広島に咲いたら嬉しいよ」と、なんて素敵な人なんだろうか。有難く頂戴して、何箱かに分けて広島のカンナの会の人に宅急便で送りました。そうしてカンナの会の方が小学校へ持っていき子ども達と一緒に植えてくれました。

核の無い世界に成る様にカンナの花を幸せのバトンとして世界中に花が咲くと良いですね！

（浄瑠璃三味線 野澤松也）

二代目吉右衛門丈と私

今回は連載「名優と義太夫節」に代えて、二〇二一年十一月に逝去された二代目中村吉右衛門丈の思い出を綴ってみたい。

逝去なさってから驚いているのは、多くの皆様「播磨屋には葵太夫」と思っていてくださり、その追悼文執筆や談話取材がいまだに続いていることである。

昔時、竹本は有力俳優の弟子分として俳優に付いていたが、現在は松竹株式会社専属となり、主演俳優と松竹演劇部の相談により、公演ごとに配役されている。吉右衛門丈は演目をお決めになるにあたり、「葵太夫はその月あいているか」とお訊ねになられたと伺い、それほどまでに信頼くださったかと感謝申し上げますと共に、自身の演奏力不足をいままさらながら申し訳なく思う…。

私は二〇〇九年頃から一緒にさせて頂いたが、「熊谷」「俊寛」等の定評ある当り役の数々の演奏に加え、先代の偉業に近付こうと、近年では上演稀な「岡崎」「春日村」等を掘り起こされた際の作曲・補曲も仰せつかり、世に出すお手伝いができたのをうれしく思っている。

曲を師匠方から教わり、また自身で研究しても、劇付随音楽である竹本の場合、主演俳優からの起用がなければ、培った曲を舞台で語る機会はない。義太夫狂言を得意とした先代を仰ぎ見てその役々を受け継ぎ、さらに磨きをかけて高い評価を得ている吉右衛門丈に

起用頂けたことは私の幸いであった。あるお方が私のことを「三代目市川猿之助が根を養い、六代目中村歌右衛門が枝葉を茂らせ、二代目中村吉右衛門が花を咲かせた」とおっしゃってくださったが、竹本の育ち方と主演俳優の関係として、結構なことを言っていると思う。そのご恩に報いるため、次は実や種を残さねばと責任を感じている。

吉右衛門丈は演技が「巧い」に違いないが、小器用な方ではなく、「骨の髄からそのお役を生きている方」という印象が私には強い。ことにセリフ廻しの結構さは、太夫として勉強になるどころか、キッカケがきて引き継いで語らなければならぬのに、感動のあまり喉が詰まって次が語れなくなるほどであった。戯曲を深く読み込んで構築された人物からにじみ出た感情は、自在に操作されるセリフによって増幅され、感動を呼ばずにはいられない。ご自身では清元志寿太夫ご夫妻に清元節をお習いになり、強いカンの裏声を操作できるようにになったと仰せであった。

初め私は、義太夫節の類型として吉右衛門丈の役々を語っていたが、そのうち「吉右衛門丈の演じる何々」ということの重要さに気付いた。本格の義太夫節の表現と、吉右衛門丈が演じて表現されていることは、根本は一緒でも表現に開きが出てくる。そこで、その人物として舞台に生きておいでになる吉右衛門丈の魂に入り込もうと努力した。寡黙なお方であったから「察してほしい」とお思いで、私は三味線方に「ここはこういう思いでなさっ

ておいでと思うので、こう行きましょう」とこまめに話し、演奏の組立を共有した。ある太夫・三味線方が吉右衛門丈の楽屋で駄目を出され、二人が責任をなすりつけ言い争いになった。しばらくして「ぼくはあなたの方のために芝居をしているんじゃないよ」と言われた笑い話が残るが、竹本は俳優のために太夫・三味線方が気を合わせなければいけないのである。

吉右衛門丈はコロナ禍以前より感染症に對してご注意深く、マスクを常用しておいでだった。そんな吉右衛門丈がコロナ真盛りの二〇二〇年夏に「須磨浦」を創作なさり動画配信された。銀座の観世能楽堂で映像収録すると伺ったときは、「世情落ち着かぬこんな時期に吉右衛門丈がお出ましにならずとも…」と思った。もしものがあってはと心配し、「ソーシャルディスタンスのため竹本・鳴物は舞台から降りて演奏してはどうか」と松竹演劇部に進言したほどであった。昨秋追悼出版されたご本に当時綴られた吉右衛門丈の随筆が掲載されているが、「何かできることをやらねば…」というご心中察してあまりある。歌舞伎という演劇の魅力はいろいろあるが、吉右衛門丈は「芸術の審美眼を備えた方の鑑賞にたえうる歌舞伎」を演じるのがご自身の使命と思っていられしや、
「伝統歌舞伎」という表現をよくお使いになった。私もその一筋につながる次代の主演俳優のお役に立てるよう、本年もたゆまず精進する所存である。

(歌舞伎竹本 太夫 竹本葵太夫)

■協会・正会員の主な動き■

令和四年七月～十二月

【三年ぶりに祖先祭開催】

十一月十四日(月)、両国の回向院において祖先祭を行い、理事と総務部・事務局より八名が法要と墓参をいたしました。

二〇一九年度までは、毎年、協会の主催行事として行ってきましたが、二〇二〇・二〇二一年度はコロナ禍のため中止、当協会の代表のみが参詣しました。今年度は小規模ながらも三年ぶりに開催することができました。

【公演】

義太夫協会／義太夫節保存会主催公演

「女流義太夫演奏会」

七月十六日(土) 国立演芸場

八月二十日(土) お江戸日本橋亭

九月十九日(月・祝) お江戸日本橋亭

十月二十日(木) お江戸日本橋亭

十一月二十日(日) お江戸日本橋亭

十二月十八日(日) 紀尾井小ホール

正会員主催公演(協会後援分)

依頼公演・協力公演(*印)

「じょぎ」* お江戸上野広小路亭

七月一・二日、九月一・二日、

十一月一・二日

「ぎだゆう座」* お江戸上野広小路亭

八月一・二日、

十月一・二日、十二月一・二日

「京之助の会」

七月十日(日) 回向院念仏堂ホール

「附けの會 義太夫の魅力!再発見!」*

七月三十一日(日) 萬福寺

「大阪女義復興プロジェクト2022」*

義太夫体験教室

八月五日(金)・六日(土) 各日二回

高津宮 末広の間

「忠臣蔵尽くし 本伝発端編」*

八月十二日(金) 渋谷区文化総合センター

大和田伝承ホール

「和装・邦楽体験」*

八月二十二日(月)、十二月二六日(月)

お江戸上野広小路亭

「上方落語の会」*

九月二十日(火) お江戸日本橋亭

「第十八回 花のように香れ 女流義太夫」*

十月十六日(日) 蕨市立文化ホールくるる

「邦楽チャレンジ2022」*

十月二十九日(土) 邑楽町中央公民館

「忠臣蔵尽くし 本伝討入り編」*

十一月十六日(水)

亀戸文化センター カメリアホール

「女流義太夫 Special Live vol.10」*

十一月二十九日(火)・三十日(水)

神楽坂 THE GLEE

【普及】

義太夫節保存会・義太夫協会主催教室

◆義太夫一日体験教室

八月二七日(土) 芸能花伝舎

◆第七四期義太夫教室

「実践コース前期」九月～十二月(各土曜)

豊川稲荷文化会館

【放送・放映】

◆NHK FMラジオ「邦楽のひととき」

七月二七日(水)

『恋女房染分手綱』重の井子別れの段

浄瑠璃・竹本土佐子 三味線・鶴澤津賀花

十二月十四日(水)

『忠臣義士伝』赤垣出立の段

浄瑠璃・竹本土佐子 三味線・鶴澤津賀清

◆NHK ラジオ第一「ラジオ深夜便」

九月十三日(火) 鶴澤津賀寿

◆NHK Eテレ「新・にっぽんの芸能」

十月十四日(金) 江戸のふしぎ職業図鑑

ミニコーナー「たからのことば」

竹本駒之助・鶴澤津賀寿

■協会・正会員の今後の動き■

令和五年一月～六月

【公演】

義太夫協会／義太夫節保存会主催公演

「女流義太夫演奏会」

一月二二日(土) 紀尾井小ホール

二月二十日(月) お江戸日本橋亭

三月二一日(火・祝) お江戸日本橋亭

四月二十日(木) お江戸日本橋亭

五月七日(日) 紀尾井小ホール

六月二十日(火) お江戸日本橋亭

正会員主催公演(協会後援分)

依頼公演・協力公演(*印)

「じよぎ」*お江戸上野広小路亭

三月一・二日、五月一・二日、

「ぎだゆう座」*お江戸上野広小路亭

二月一・二日、

四月一・二日、六月一・二日

「第五二回邦楽演奏会」*

三月二十五日(土) 国立小劇場

【普及】

義太夫節保存会・義太夫協会主催教室

◆第七四期義太夫教室

〔実践コース後期〕一月〜三月(各土曜)

豊川稲荷文化会館

◆第七四期義太夫教室卒業発表会

三月十一日(土) スペースFS 汐留

■寄付・寄贈■

左記のご寄付・ご寄贈を頂戴いたしました。

誠に有難うございました。

寄付 日本素義会様／鶴澤津賀寿／竹本友代

寄贈 大矢芳弘様

『歌舞伎を読む』全三巻

「雅の巻」「武の巻」「念の巻」

会報編集委員／鶴澤寛也・竹本佳之助

鶴澤賀寿・鶴澤津賀花・竹本越里

印刷／京成社

CD最新作 義太夫協会音源シリーズ(十一) 好評発売中!

2021年4月6日「女流義太夫 本牧亭を聴く会」公開音源

・恋女房染分手綱 重の井子別れの段(昭和四十四年三月・本牧亭)

・仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の段(昭和四十三年十二月・本牧亭)

※竹本小津賀、鶴澤三生による特別番組(詞章付き)

価格:1,500円(税込・送料別)

<義太夫協会記録音源 復刻オンデマンドCD> 全11タイトル

壺坂靈験記・新版歌祭文・絵本太功記・御所桜堀河夜討／伊賀越道中

双六・生写朝顔話・艶容女舞衣・義経千本桜・伊勢音頭恋寝刃・近頃河

原達引・ひらかな盛衰記

その他プレス盤も取り扱っております。

お問合せ・お申込み 義太夫協会

GK-012



竹本小津賀



鶴澤三生

昭和四十四年三月二日 本牧亭
恋女房染分手綱 重の井子別れの段
昭和四十二年十二月四日 本牧亭
仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の段

義太夫協会音源シリーズ(十二)

義太夫用三味線・張替、水牛角・見台・湯呑、
制作修理 その他、各流三味線及び付属品
の御注文承ります。



きむら

〒151-0066 東京都渋谷区西原 1-26-14

TEL/FAX 03-3466-2156

P.H.S. 070-5457-5687



彩雲

いせわく

〒八五四一〇五一六
長崎県雲仙市小浜町富津一七四
電話〇九五七一一八一一〇三九二

神楽坂から移転しました



永谷の演芸場は
日本の伝統芸能を応援しています

- ◆お江戸日本橋亭
- ◆お江戸上野広小路亭
- ◆お江戸両国亭
- ◆新宿永谷ホール (Fu-)

永谷商事株式会社
☎0422(21)1796
公式 HP <http://www.ntgp.co.jp/>



作年は義太夫界にとって
喜ばしいニュースがありました。
鶴澤津賀寿師の人間国宝認定です。
竹本駒之助師に続き
師弟で人間国宝に認定されました。

一九六三年発足



日本素義会

これからも女流義太夫が
ますます弥栄でありますよう
日本素義会より、心よりのお祝い
そしてお喜びを申し上げます。

第百十八回日本素義会、令和五年八月二十四日開催予定。